

子どもを取り巻く状況

- ◇児童生徒数の減少
- ◇家庭や地域社会の教育力の低下
- ◇学校が抱える課題の複雑化・困難化
- ◇都市化や核家族化の進行



子どもを取り巻く
状況の急激な変化

本市の主な取組みについて

・地域人材交流講座

小中学校において、専門的な知識や技能を有する地域の人材を生かした学習を展開。総合の授業やクラブ活動などで地域の先生として指導をお願いしている。

・学校・家庭・地域の連携推進協働事業

地域全体で子どもたちを育む体制づくりを推進していくことを目的として、宮野浦小学校区において放課後子ども教室を実施。地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供している。

・地域の教育力向上事業

地域全体で「地域の子」「社会の子」として、子どもと地域の人々と交流できる機会を設け、地域の特性を活かした青少年の体験活動や健全育成に係わる講座などの実施について支援している。

・赤ちゃん登校日

親の愛情と「いのちの大切さ」について学び、将来親になることについての意識の向上を図るとともに家庭教育を支援している。

○平成30年度からの新たな取組み

・キャリア教育推進事業

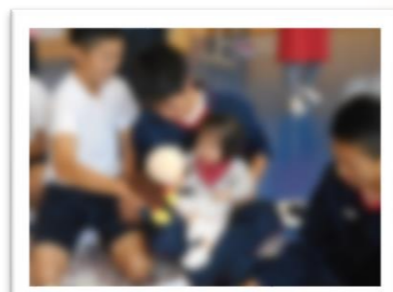
児童生徒一人一人がふるさと酒田を愛し、将来の夢を持ちよりよく生きるための資質能力の育成を目指す。夢をはぐくむためのキャリア教育の推進に繋がる事業をテーマの柱に据え、取り組んでいく。

・小中高連携ものづくり教室事業

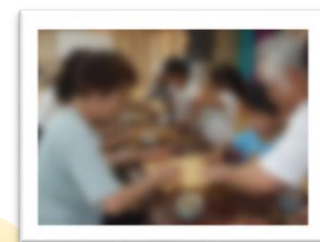
光陵高校の専門性豊かな指導者と高度な施設・設備を活用し、科学・工学系ものづくりの楽しさを体験できる教室を小学生、中学生向けに開催する。

これからの学校・家庭・地域の連携・協働の視点

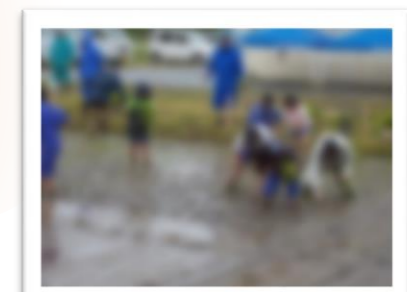
- 「地域とともにある学校」の目指す姿を地域と学校で共有し、一体となって子どもたちを育む地域づくりの推進
- 地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、地域全体で子どもも大人も学び育ちあう体制の構築
- 学校と地域が協働で地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る地域づくりの推進



赤ちゃん登校日



みやのうらっ子放課後子ども教室



地域人材交流講座